

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明示し、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。また従業員が月々の目標を立て、朝礼にて読み上げることで社内共有を図っている。										8	9								17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令順守の規定とマニュアルのもと、社内でも共有している。 ・コンプライアンスを順守出来るように会議にて報告している。																			16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、会議で重要性を伝えている。 ・業者との取引にも言動行動を謹んで経営に取り組んでいる。													10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・責任者を主任に任命している。 ・自らの事業活動が社会環境に大きく関わることを理解している。清浄にした水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与している。																				16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・著作権などについて、セミナーに参加し社内でも勉強会を実施している。										8.2 8.3	9									16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・入退社時に、個人情報保護にかかわる誓約書を提出してもらっている。 ・PCなどにはパスワード等を設定し、セキュリティを強化すると共に、PC、USB等社外持ち出し禁止にしている。																				16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・取引先・消費者のニーズや期待を把握し、安全・安心な商品・サービスの提供や当社情報の適切な開示、課題解決に取り組んでいる。																			16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・地球環境や人権侵害等への配慮など、問題意識の共有に取り組んでいる。					5						8		10			12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・事業継続力強化計画認定を受けた。 ・市や他団体と災害時応急対策協定を締結し、災害時に速やかに対応できる対策を整えている。 ・ハザードマップの揭示、確認、見直しを定期的に行っている。												9			11			13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導、育成に取り組んでいる。 ・熊本県中小企業団体中央会を活用し、事業承継に関する研修会を受講するなど、事業承継に関する検討・対策を行っている。											8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8						12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメント相談窓口、担当、心の声BOXを設置している。 ・判例を掲示し、予防・防止への意識を高めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎朝のラジオ体操を実施している。 ・会議等で事故の情報を共有し、事故防止に取り組んでいる。									8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員、有期雇用)の公正な待遇を行っている。						5.5				8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・有休休暇の取得に取り組んでいる。 ・産休、育休、介護休暇の取得できる環境づくりを整えており、男性育児休暇・男性介護休暇取得実績がある。				3		5.5				8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得に係る受講料及び講習会費用を全額負担し、従業員の「自分力アップ」を目指している。 ・職員のマナー研修やセミナーの受講を行っている。						4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・年1度健康診断を実施、再検査受診を推進し経費補助を行っている。 ・産業医の意見聴取を実施している。										8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・人種、性別に関係なく昇進、昇格等を行っている。 ・63歳で定年であるが、定年を迎えた後でも1年ごとに再雇用の契約を行い、雇用を続けた実績がある。						4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・WEB会議、リモート講習会を活用している。										8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●												8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●												8	9					12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事務所内の廃棄物の分別、処理を徹底している。 ・専門の業者を入れ確認、管理をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・アイドリングストップを装備した車・トラック・重機を使用している。 ・エネルギー効率の良い商品や省エネ家電を選ぶようにしている。 【予定】2025年3月までに、簡易計算シートを用いてエネルギー使用料を算出し、オフィスの節電に取り組む。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・アイドリングストップを装備した車・トラック・重機を使用している。 ・エネルギー効率の良い商品や省エネ家電を選ぶようにしている。 【予定】2025年3月までに、事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を作成提出する。			2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・自動販売機のペットボトルを買うのではなく、水筒の持参を推進している。 ・再生用紙、裏紙の利用を推進している。 ・撤去品など使える物は再利用を推進している。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・地域の清掃活動を行っている。 ・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・単独浄化槽の切替推進を行っている。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生資材、再生用紙の利用を推進している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・地元の商品を購入している。 ・すぐ必要な物であれば、賞味消費期限間近の物を購入している。		1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・工事掘削後の土地に緑化活動を行っている。 ・事務所では、ゴーヤや朝顔などを植え緑のカーテン運動に参加している。													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・事務所内の照明をすべて、LEDに変更しエネルギー使用率の改善を図っている。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・海岸清掃に取り組んでいる。														12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4			11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13				17.2

